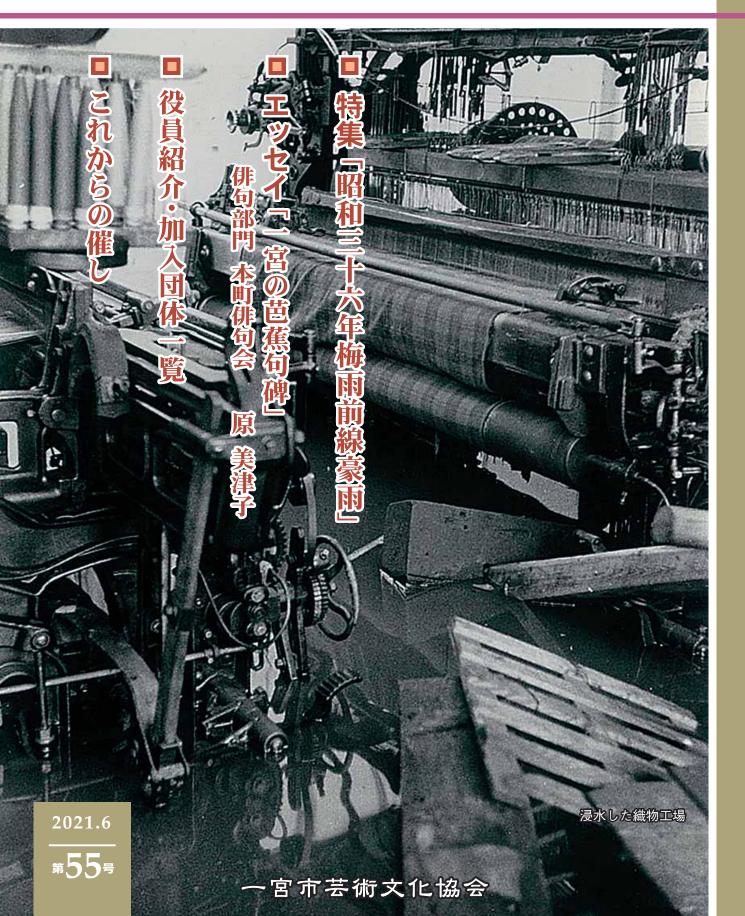
11947年前文化





私たちの「身近な文化」を学んでみませんか?歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西

昭和三十六年梅雨前線豪雨

「伊勢湾台風」と「三六災害」

被害は東海地方だけでなく、国内全域に及び

動も盛んです。

動も盛んです。

「伊那谷災害」とも言われ、災害を語り継ぐ活
と命名しています。また、その被害の大きさか
との名しています。また、その被害の大きさか
ました。気象庁は「昭和三十八年梅雨前線豪雨」



▲三条地区

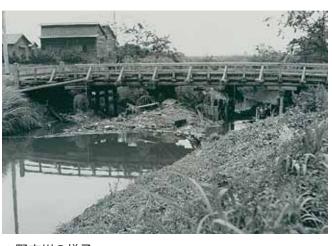


一宮市域の被害

日、尾西市は愛知県に災害救助法発動を要請し、一切ました。二十六日には日光川・野府川・青町がおかいました。二十六日には日光川・野府川・青町があが、一宮では家屋の被害は床上・床下浸当時の尾西市内では家屋の被害は床上・床下浸当時の尾西市内では家屋の被害は床上・床下浸当時の尾西市内では家屋の被害は床上・床下浸った。 二十六日には日光川・野府川・青雨量は四五五㎜に達し、雨量は伊勢湾台風を上雨量は四五五㎜に達し、雨量は伊勢湾台風を上雨があが、



▲自衛隊の災害復旧活動



翌日には自衛隊による救援活動が開始されま

決壊した日光川の排水の完了は、

七月

一日でした。

このとき、旧尾西市内に多くあった織物工

▲野府川の様子

内西部 おり、三六災害が与えた影響が大きかったこ 会科副読本にも三六災害のことが述べられて 集されました。その後、 風シーズンの八月号や九月号は防災特集が編 年まで、尾西市が毎月発行する広報紙では台 は なったことを当時の新聞が伝えています。 を挟んだ旧一宮市萩原町では「全町水浸」と 場も八割が浸水しました(写真表紙)。日光川 この災害の翌年、 伊勢湾台風を超える被害となりました。 (旧尾西市、 昭和三十七年から三十九 旧一宮市西部)にとって 小学校低学年用の計

御 囲堤 は切れないのか

とがわかります。

伊那地方では、 われてきました。その堤防は 張藩や流域住民によって、度々堤防工事が行 忠次によって木曽川に堤防が造られ、 慶長十三年(一六〇八)、幕府の代官頭伊奈 尾張地域を守り続けています。 宝暦二年(一七五二)に飯田 「御囲堤」とも 以降尾 また、

(一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員 宮川充史)

安心ばかりはしていられないかもしれません。

全国各地で豪雨が多くなり、河川環境も変わっ

た現代において、長く御囲堤で守られた尾張も

ました。令和二年七月の豪雨で、木曽川も危険

六災害により決壊し、甚大な被害を引き起こし

水位に迫る増水となりました。毎年のように、

き、地域を二百年守ってきました。

しかし、

藩が天竜川に「惣兵衛堤」と称される堤防を築

▲令和2年7月豪雨の木曽川

3 令和3(2021)年6月 いちのみやの芸術文化

宮の芭蕉句碑

俳句部門 本町俳句会 原 美津子

ともない。句碑はどれも市の郊外 初耳で、句友との話題に上ったこ の寺の境内にあるようだ。 されていた。一宮に芭蕉句碑とは る。句碑の写真に句と場所が紹介 で愛知の芭蕉句碑を見ての事であ ある事を知った。インターネット 最近、 一宮に芭蕉句碑が三基も

なかには、古びて刻字が薄れ、 を知らないと読めないものもあっ 句碑は、どれもひっそりとあった。 境内は躑躅や牡丹の花盛りだった。 た。四月中旬のよく晴れた日で さっそく、各寺を訪ねる事にし

して知っている江戸時代の俳諧 しかし、この碑の存在は、知識と 皆さん恐縮されるばかりだった。 由来などは皆目わからない。」と 電話でお話を伺った。ところが 「句碑があるのは存じているが、 寺はどこも留守だったので夜 の隆盛が、片田舎の一宮

> にまで及んでいた事を物語ってい るのだ。

その他を参考に調べた事を次に紹 介したい。 注ふりがなは筆者、() は出典 これをよい機会に図書館の本

常福寺 (大赤見)

たはみては 雪まつ竹の 気色哉 [笈日記]

碑は本堂手前、大樹の下。天明六 年(一七八六)建立。 的に竹籠の製作が行なわれていた。 「竹の讃」とある。大赤見は伝統 田逗留中の句で、その前書に この句は芭蕉最晩年の旅の途次



薬師寺 (花池)

古池や 蛙飛こむ 水 の音

築山の下。寛政五年(一七九三) 百年忌にふさわしい句碑。境内の 諧に転じた蕉風開眼の句と言われ 言う。漢詩や和歌で古来「蛙」は 池には、昔、蓮池が多くあったと 「古池」に飛び込ませて一気に俳 「鳴く」ものと詠まれたものを 芭蕉百年忌に花池連中建立。花



禅林寺 (浅野)

庭掃で出るや寺に散柳

掃いて退出したところ、折しも寺 浅野社中建立。寺への礼に庭を おくのほそ道

> うが「おくのほそ道」には「出ば 左手。文政二年(一八一九)建立。 や」(退出したいものだ)となって には柳の葉が散っているの意と思 加賀の寺での作。碑は正門



れた事だろう。 碑建立の折には盛大な句会が持た あることを知った。それぞれの句 市内に江戸時代の句碑が十基近く これら芭蕉句碑三基の他、 今 回

親しく思われる。 発していると思うと江戸がとても それが、すでにこの江戸期に端を 一宮市には俳句愛好家が多いが

【参考資料】

◇一宮石の華

◇一宮の文学碑を訪ねて

◇芭蕉全句集 雲英末雄 訳・

注

4 令和3(2021)年6月 いちのみやの芸術文化

			会計			会長	顧問	名誉会長	役職名
	鵜	夫	不	Ξ	不	小	ا ل	Ф	氏
	飼	馬	破	輪	破	島	藤	野	
	輝			清		祥		正	
	子	勲	務	37	皓	子	義	康	名
(敬称略)	吟剣詩舞部門/柳翠剣詩舞道会	写 真 部 門/一宮写真協会	舞 踊 部 門/新舞踊あすか会	洋 画 部 門/一宮美術作家協会/洋画部	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ	声楽·合唱部門/一宮音楽家協会	茶 道 部 門 / 同派会	一包市最	備考(部門/団体名)

1	`
台	Į
71	`
杪	١
m	7
畎	Ş

部

部

門

部長

氏

名

വ

体

名

詩

部

門

清

水

義

晴

宮現代詩協会

狂

俳

部

門

Ш

本

範

子

宮狂俳壇連盟

Ш

柳

部

門

Ш

越

洪太郎

宮川柳社

俳

句

部

門

光

崎

賢

治

本町俳句会

短

歌

部

門

 \bigcirc

Ш

合

順

夫

真清短歌会

※左表は各部門選出の理事一

覧表です。

		-	_							'					
化	社 会	Ħ	芸能			音 楽 部				美 術 部					
華道部	茶道部	芸能部	舞踊	管吹奏楽部	器楽部	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部	謡曲部	邦楽部	写真部	書部	彫 塑 部	洋画部	日本画部	部門
腸	門	門	花	浅	不	門○久	髙	門 森	水	門武	川	門 芸 鵜	門	高	部長
田まつ子	野文工	全修	柳こま希久	井 英 仁	破清	野以早夫	間加代子	恒夫	谷富士雄	鹿千代	浦碧濤	飼 辰 郎	島麻琴	橋 弘 子	氏名
一宮華道連盟	尾西表千家木野(文)会	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	琴伝流大正琴琴稀会	一宮音楽家協会	濃尾岳風会 一宮支部	一宮謡曲同好会	一宮二曲協会	一宮写真協会	道会 一宮支部	/デザイン・工芸部・彫塑部一 宮美術作家協会	/洋画部	/日本画部	団 体 名

(敬称略)

加 入 団 体 一 覧

(令和3年5月現在)

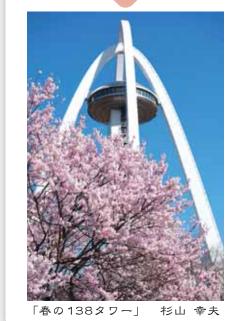
						(令和3年5月現在)
部	部	門		団 体 名		主 な 活 動 日 時 ・ 場 所 活 動 内 容
					会	毎月第2日曜日:午後1時~ 一宮スポーツ文化センター
	短 歌	部	門	真 清 短 歌		毎月の短歌教室と年3回の短歌大会、5月の吟行会で会員相互の親睦と生きがいを深めています。
					室 -	毎月第3日曜日:午後1時~ 一宮スポーツ文化センター
				一宮市民俳句教		初心者も交え俳句会を開き、年に一度秋の吟行会に参加しています。
				* * # 5	_	毎月第1水曜日:午後1時~ 北方公民館
				北方俳句	会	自然に親しみ、心豊かに生きている喜びを詠っています。
				本 町 俳 句	会	毎週金曜日:午後1時~ 大志公民館
				Ф ш н н	A	四季の移ろいに自分の思いも入れ句に詠むことは心を豊かにします。
				ききょうの	会	毎月第1・3水曜日:午後1時~ 大志公民館
					<u> </u>	四季の自然や生活の中で気付いた事を五七五にまとめて句会を致しております。お気軽にどうぞ。
				千秋俳句クラ	ヺ	毎月第1木曜日:午後1時~ 千秋公民館
	俳 句	空区	四	1 10 19 19 2		当季雑詠6句を持ち寄り講師に指導いただき、11月には千秋文化展に出展し頑張っています。
	ואר ריי	ПÞ		神山女性句	会	毎月第2土曜日:午後1時30分~ 神山公民館
					Δ	神山句会では本年で22年の教室となりました。私と時代を視つめ生きている日々を詠みます。
文学部				尾西牡丹句	会	毎月第3土曜日:午後1時~ 尾西生涯学習センター
~ ~ •					_	毎月の句会では全員が披講し交流を深めています。毎年バスで吟行会と尾西俳句大会を実施しています。
				びさい南俳句	슸	毎月第1金曜日:午後1時~ 尾西南部生涯学習センター
					_	当日は俳句会をします。会の終わりに久保武氏の講評があり、折々の吟行会に参加します。
				仏手柑俳句	会	毎月第2日曜日:午後2時~ 応蓮寺
			J 14 1/1 · 3	n) X	大徳公民館で活動を始めました。第4日曜日午後2時から3時30分まで。ご参加お待ちしております。	
				尾 西 新 樹	会	毎月第1月曜日:午後1時~ 尾西生涯学習センター
					_	俳句を通じて人との触れ合いを大切にして作句し、吟行会や俳句大会へも積極的に参加しています。
	川柳	川柳部門	門	一 宮 川 柳	社	毎月第4日曜日:午後1時〜 一宮スポーツ文化センター
						句会と川柳教室ならびに柳誌の発行により、文芸としての川柳を楽しみ、普及をはかっています。
	狂 俳	部	門	一宮狂俳壇連	盟	毎月第2土曜日:午後1時~ 葉栗公民館
						一宮市に残る庶民文芸を伝承し、地域文化として普及するよう、言葉遊びを楽しんでいます。
		部門	一宮現代詩協	会	事務局へお問合せください。	
	詩音			ממו ע	詩が好きな仲間が集まりました。詩心がある方はもちろん、始めてみたい方、どなたでも大歓迎です。	
				一宮漢詩濤聲	會	毎月第1火曜日・第4土曜日:午前10時~ 中央図書館
						自作の漢詩を各自持ち寄り、互いに読み合って、より良い作品へ仕上げる添削等を検討します。
				一宮美術作家協会/日本画	部	事務局へお問合せください。
						市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
	日本直	画部	門	桃 墨	会	毎月第2・4 八曜日:午後2時〜 一宮スポーツ文化センター、第1・3 水曜日:午前10時〜 尾西生涯学習センター
		ш р і				趣味とは云えども芸術としての水墨画を目ざし、年2回のスケッチ旅行と年1回の桃墨会展を開催しています。
				尾西作家協会		事務局へお問合せください。
美術部				一宮美術作家協会/洋画部		絵画や工芸作品の発表を通して美術文化の発展に協力します。チャリティー展も開催します。
						事務局へお問合せください。
						市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
	洋 画	部門	尾西絵画クラ	ブ	毎月第1・3土曜日:午後1時~ 尾西生涯学習センター	
						絵画をつうじて美術文化の発展と人との出会いを大切にし、中央の公募展をめざして精進します。
				水 絵 の	会	毎月第1・3金曜日:午前10時~ 尾西南部生涯学習センター
						□ 生涯学習として水彩画を学び、正確に描くことより気持ちを表現し、個性ある絵で感動を伝えたいです。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

部	部門	団 体 名	主な活動日時・場所					
		活 動 内 容 毎月第1・2・3木曜日:午後1時~ 小信中島公民館						
		グループ絵ごころ三美会	油絵を描くことで、美術に対する関心を深め、会員相互の親睦をはかります。					
			毎月第1土曜日・第3火曜日:午前9時30分~ 尾西牛涯学習センター					
	楽 し く 描 こ う 会	本会も歩み始めて19年目。熱心な講師の指導、個性溢れる仲間の作品から刺激を受け合い前向きに頑張っています。						
			毎週水曜日:午前9時30分~ 午後1時30分~ 講師宅					
		ポ ピ ー の 会	総を描く事が好きな人が集まり、個々でテーマを決め作品を作り公募展にも多数出品しています。					
			毎月第2・4金曜日:午前10時~ 尾西南部生涯学習センター					
		尾西ガリバンバンの会	一枚の画用紙に何気ない風景を絵として表現できるよう学習しています。					
			毎月第2・4日曜日:午後2時~ シルバー人材センター木曽川支部					
		木曽川絵画同好会	絵画一般を会員で楽しく描いています。					
			毎月第1・3木曜日:午後1時~ 尾西南部生涯学習センター					
	プルシャンブルー	 絵画を楽しみ、人と人との交流を大切に、年間の成果を発表する作品展を目標に、活動しています。						
			毎月第1・3土曜日:午前9時30分~ 尾西南部生涯学習センター					
			毎月第2 · 4 木曜日:午前9時30分~ 一宮スポーツ文化センター					
	羊 画 部 門	山ぶどうの会						
			毎月第1・3火曜日:午前9時30分~ 一宮スポーツ文化センター					
		土 筆 の 会	 愛好者により、水彩画を学んで、地域の人との交流をして、成果を展示会にて発表します。					
			毎月第1・3水曜日:午前9時~ 一宮スポーツ文化センター					
		あ ざ み の 会	 仲間と共にワクワクする楽しい時を重ねて、絵筆を持ち脳トレに励み、笑顔あふれる日々を過ごします。					
/D			毎月第2水曜日:午前9時30分~ 北方公民館					
美術部		花	クラブ員の新睦を深めながら、水彩画を学んでいます。作品展に出品する為に頑張っております。					
			毎月第1・3金曜日:午前9時30分~ 一宮スポーツ文化センター					
		ゆ ず の 会	絵画をつうじて美術文化の発展と人との出会いを大切にし、作品展をめざして精進します。					
		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	毎月第2.4金曜日:午後1時~ 一宮スポーツ文化センター					
		ぴ く ー る ア ー ト サ ー ク ル	初心者からベテランの方まで、楽しく水彩画を学んでいます。スケッチ旅行にも皆で出かけます。					
		다 내 국 소네	毎月土曜日3回(変則):午前9時30分~ 一宮スポーツ文化センター					
		グ ル ー プ 創 	大島先生の指導のもと、各自自由課題で楽しんでいます。					
		7 7 7 7 11 21	毎月第1・3火曜日:午後1時~ 尾西生涯学習センター					
		ア ク ア マ リ ン 	水彩画を楽しく描き、一宮美術文化と人にふれあい生きがいのある活動をします。					
		一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。					
		一古夫例IF水助立/ ナリイノ・上云部・彫塑部	市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。					
		陶 順 会	毎週火・土曜日:午前9時~ 朝日西つどいの里陶芸室棟					
		陶 順 会	陶芸を通じて文化の振興に寄与し技術の向上に努めると伴に、会員相互の新睦を図っています。					
5	デザイン・工芸	屋進まれた伝える	毎月第4日曜日:午後2時~ 尾張一宮駅前ビル (* ービル)					
B	影塑部門	尾張もめん伝承会	尾州織物の原点となる綿から糸を紡ぎ染め織るという手仕事を伝承し、作品を作り発表しています。					
			毎月第1・3土曜日:午前8時30分~ 旧湊屋文右衛門邸					
	尾 西 面 打 会 古面の能・狂言面等を手本に、魚		古面の能・狂言面等を手本に、角材から型紙を使い彫り、胡粉を塗り彩色し完成させています。					
		- 面 会	毎月第2・4土曜日:午前9時~ アイプラザー宮					
		四 五	工芸「面打ち」教室に集う会員相互の親睦を深め、技術の向上を図ることを目的とします。					
=	書 部 門	公益社団法人中部日本書道会一宮支部	事務局へお問合せください。					
	書 部門	A型社团还八中即口中音但云一名文部	「書」を通じて「地域文化の発展向上」と「心の豊かさ」をめざすと共に、青少年の育成にも尽力してまいります。					

部部門		団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所					
pp.	PP 13	П 17 П	活動内容					
	書部門	麗筆会	事務局へお問合せください。					
美術部			書を通して文化の発展向上、豊かな心と美意識を具備する青少年の育成をめざし研讃しています。					
	写 真 部 門	一字写真協会	事務局へお問合せください。					
			写真を通して会員相互の親睦を深め、写真技術の向上と豊かな人生の糧となるように努めています。 					
		 一 宮 三 曲 協 会	事務局へお問合せください。					
			三曲協会は絃方10社中尺八6社中で構成され、合同で定期演奏会を毎年11月23日に開催しています。					
		三 山 会	毎週土曜日:午後 2 時~ 講師宅 					
			歴史ある伝統楽器である尺八を吹いて楽しんでいる仲間の会です。 					
		里 音 会	月2回 土曜日:午後 講師宅					
			筝・三絃・十七絃を練習し、演奏会が近くなると尺八とも合奏しながら楽しく励んでいます。 					
	邦 楽 部 門	すみれ 第の会	月4回 講師宅					
			箏のおけいこを通じて、音楽の知識を学び感性を養います。年に数回演奏会に出演。生徒募集中です。 					
		美 友 会	(随時) 講師宅					
			邦楽を愛する仲間で活動する会です。楽しく箏曲を演奏しております。 					
		 藤 乃 会	(随時) 講師宅					
			古曲から新曲、あらゆるジャンルの曲を箏で合奏しています。新しい方との出合いをお待ちしています。 					
		一宮三味線川崎会	毎週金曜日:午前 9 時15分~ 渡辺節子宅					
			民謡三味線を弾き、日本音楽文化を楽しもう。					
	謡曲部門	一 宮 謡 曲 同 好 会	事務局へお問合せください。					
			現在8団体で年2回の発表会に向け、それぞれの団体ごとに稽古しています。					
		濃尾岳風会一宮支部	市内4教場で活動しています。詳しくは事務局へお問合せください。					
			年間行事として年1回の発表会(一吟会)を通じて、各教室の交流を含め練習成果の研鑚を行います。					
		吟道関心流真和支部	事務局へお問合せください。					
音楽部			年に4回の発表会と県大会や全国大会のコンクール(競吟)を行っています。					
	吟剣詩舞部門	神道一刀流剣詩舞会	第2・4 金曜日:午後1時〜 小信中島公民館 					
			毎月第1・3金曜日:午後1時~ 小信中島公民館、第2・4金曜日:午後1時~ 尾西生涯学習センター他					
		柳翠剣詩舞道会	時月第1、5 並曜日・干阪「切っ」が16年第五氏路、第2、4 並曜日・干阪「切っ」 福凶主任子自とノッー 吟剣詩舞道は日本古来の伝統芸能です。「礼と節」をその心とし舞う事に喜びを感じ精進しています。					
			毎週月・水・金曜日 山瑩会教室、尾西生涯学習センター 他					
		山 瑩 会						
		一宮音楽家協会	クラシック音楽の演奏。会員は日頃は個々に自己研鑽に努め、その成果を一般に公演しています。					
			事務局へお問合せください。					
		一 宮 合 唱 協 会	コーラスを通じ歌いたい心のうたを皆様にお届けできたらと取り組んで練習を重ねています。					
	声楽・合唱部門		毎週火曜日:午後7時~ 尾西生涯学習センター大ホール					
		一宮第九をうたう会	「第九」をはじめ各種の演奏会と練習を通じて地域文化の向上に貢献することを目的に音楽活動中です。					
			毎月第2・4土曜日:午後1時~ 尾西生涯学習センター					
		佳 富 士 会	民謡は「心の故郷」といわれます。さあ民謡の旅にご一緒しましょう。さあ出発しますよー。					
			月4回 金曜日:午後1時~、土曜日:午後1時~ 尾西ふれあい広場					
		琴伝流大正琴琴稀会						
			事務局へお問合せください。					
	器楽部門	安 美 & コ ン ブ リ オ	12月にはクリスマスコンサートでいろいろなジャンルの曲をいろいろな楽器で演奏します。					
			毎月1·15·28日:午後6時~、第2·4日曜日:午後6時~ 尾張猿田彦神社					
		特定非営利活動法人旭雅楽会	一宮市をはじめ、東海三県で世界最古の音楽「雅楽」の演奏活動をしております。					
			ロロアとはひめ、木舟二木(ビ介取口の日末「旭米」の次条/11割でしてのりより。					

部	部門	団 体 名	主な活動日時・場所						
			活 動 内 容						
		一宮市民吹奏楽団	毎週土曜日:午後5時〜 一宮スポーツ文化センター 						
		毎週日曜日:午後5時~ 尾西生涯学習センター							
			音楽を楽しみ、人との繋がりを深め、希望と夢のあふれるまちづくりに貢献し、人生に潤いを!						
音楽部	吹奏楽・管弦楽 部 門	一宮シティ合奏団	毎月第2土曜日:午後6時~ 第4日曜日:午後1時30分~ 一宮スポーツ文化センター						
	13		リハーサルにより合奏能力を高め、年1回10月に一宮市尾西市民会館にて定期演奏会を行っています。						
		きそがわポップスバンド	毎月第1土曜日、第2~5日曜日:午後5時30分~ 木曽川公民館または木曽川体育館						
			吹奏楽を通じて地域文化の発展や人との出会いを大切にし、イベントや演奏会に参加しています。						
		濃尾ブラスソサエティ	月3回 日曜日:午後1時~ 木曽川公民館						
			通常練習と年4回程の演奏会を通じて市民文化の発展に貢献できるよう活動しています。 						
		一宮舞踊協会	越智パレエ団 秋田産業ビル(木曜日)、一宮中日文化センター(火曜日・日曜日) 佐々パレエ団 一宮中日文化センター(木曜日) 糸尾パレエ団 下沼町(日〜土曜日) 日舞喜美会 北園通(水・木・金・土・日曜日) 日舞吉利枝会 スポーツ文化センター(金曜日) 日舞こま希久会 中町(日・月・木・金曜日)						
			現在6団体、日舞とバレエ協会結成69年目で、各会それぞれに楽しく稽古に励んでいます。						
	舞踊部門	** # R + + + ^	毎週水曜日:午後6時~ 起つどいの里						
芸 能 部		新舞踊あすか会	歌謡曲や古典舞踊、民踊の曲にあわせ日々稽古に励み、秋の尾西芸能祭に向けて頑張っています。						
			毎月第1・2 木曜日:午前9時~ 尾西文化広場、毎月火曜日:午後1時~ 講師宅又は尾西生涯学習センター						
		坂東流百喜久会	令和3年に70周年を迎えます。日舞の歴史等も学びつ\、演目の理解度も高め、芸能祭を目標に!						
		O O	毎月第1・2(又は3)木曜日:午前9時~ 尾西文化広場または講師宅						
		坂東流百の会	H27年に10周年記念発表会。自分の踊りを仕上げる喜び、苦しみ仲間と共に。芸能祭を目指します。						
		毎週月曜日:午前9時30分~ 午後5時30分~ 向山公民館							
		芳 美 会	会員皆で仲良く楽しく、日本舞踊に親しんでいます。						
	++ 4k +7 00		事務局へお問合せください。						
	芸 能 部 門	一宮民俗芸能連盟	現在10団体加入しており、長い歴史に培われた郷土の民俗芸能を保護するため奮闘しています。						
			事務局へお問合せください。						
		同派会	7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。						
		弥 生 会	事務局へお問合せください。						
		弥 生 会	7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。						
	** ** *7	* * *	事務局へお問合せください。						
	茶道部門	茶道表千家	7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。						
社会		+ '\' =	事務局へお問合せください。						
文化部		茶道裏千家	7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。						
			月3回 土曜日:午後1時30分~(随時) 講師宅						
		尾西表千家・木野(文)会	おいしいお茶を優雅な所作で、おもてなし出来る事を目指し、御稽古を楽しんでおります。						
		5 # # # #	事務局へお問合せください。						
	** ** ** 53	一宮華道連盟	華道展を開催する事によって、文化の発展の向上をより多くの方々に伝えて携わっていただきたいです。						
	華道部門	日 正 小 匠 茨 笠 牡 土	月3回 土曜日:午後1時30分~ 講師宅						
		尾西小原流筧社中	尾西緑寿会と一緒にお花とお茶を楽しんでいます。						





催 加 团体

や教室などは中止・延期等になる場 拡大状況により、 先へお尋ねください。 合があります。開催状況は、 ※新型コロナウイルス感染症の感染 掲載している催し 問合せ

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の基本的な読み方をは りやすく「唐詩三百首」 読します。(初心者歓迎 れながら初めての方にも分か じめ、作者の時代背景にも触 を解

講師▼三島徹氏(東洋文化振興会会長 申込み▼当日直接会場 参加料▼月2000円

市民川柳教室

問合せ先

一宮川柳社

(44) 7598

濤聲會漢詩講読会

問合せ先

一宮漢詩濤聲會】

日時▼6月27日(日・7月25日(日) 8月22日(1)・9月19日(1)

10月24日(日) 11月21日(日)

日時▼6月26日出·7月24日出

12月19日(日)

午後一時~

11月27日出・12月25日出 9月25日土・10月23日土

午前10時~

会場▼一宮スポーツ文化センター

濤聲會作詩教室

日時▼7月6日巛・9月14日巛

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじ め、持ち寄った創作詩の添削 の検討を会員間で行います。 初心者歓迎

参加料▼年3000円

申込み▼当日直接会場

狂俳大会

日時▼7月10日出

会場▼葉栗公民館

内容▼事前投句の兼題句の中から互 選により優秀作を表彰します。

内容▼自由吟および課題吟を一宮川 柳社委員が指導します。 初心者歓迎

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の5 習課(ぐ(85)7074) 日前までに電話で生涯学

【問合せ先 一宮漢詩濤聲會】

(78)7953

12月7日(火 10月5日(火・11月2日(火 午前10時~

問合せ先 一宮狂俳壇連盟

参加料 > 500円

第48回学生書道展 第27回選抜作品展

問合せ先 一宮書道連盟

会場

▼ 日時 7月10日出 内容▼上位入賞作品、役員と指導者 人場料▼無料 090 11 (|) 作品を展示します。 一宮スポーツ文化センター (4265)6098午前10時~午後4時 午後1時~4時

短歌大会

【問合せ先真清短歌会

(51) 3570

内容▼参加者による互選、 会場▼一宮スポーツ文化センター 日時▼7月11日(日) 午後一時~ 批評会を

参加料 > 500円

行います。

宮市尾西俳句教室

【問合せ先 尾西俳句会 68) 2397

日時 7月17日出 ※8月以降はお問い合わせく たさい。 午後一時30分~

会場▼尾西生涯学習センター

内容▼当季雑詠4句課題―句を尾西俳 句教室委員が指導します。

申込み▼当日直接会場

参加料▼無料

10 いちのみやの芸術文化 令和3(2021)年6月

市民俳句教室

問合せ先 一宮市民俳句教室

(73) 0282

日時 7月18日(日) 9月19日日 · 10月10日日 (日)

午後1時~

11月21日(日)

12月19日(日)

会場 内容▼当季雑詠2句を一宮市民俳句 教室委員が指導します。 一宮スポーツ文化センター

初心者歓迎

開催日の前月末(必着)まで 句(初参加の方は希望者だ け)・郵便番号・住所・氏名 に参加希望日・当季雑句? (ふりがな)・電話番号を記

参加料

人の上、ハガキ(〒49-501

申込み▼ 本庁舎生涯学習課.

島文楽保存会 虫干し

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟

日時 8月1日田 **(**85) 7 0 7 4

会場▼島村公民館 (島村字岩畑) 午前10時~

内容▼市指定有形民俗文化財の文楽 八形の虫干しをします。

患岩祇園祭保存会 患岩祇園祭

(85) 7074

問合せ先

宮民俗芸能連盟

日時 8月7日出 午後3時30分~

> 会場▼石刀神社(浅井町黒岩 内容▼山車に50個の提灯を飾りつけ、

狂俳月例会

引き回します。

【問合せ先 一宮狂俳壇連 盟

78) 5002

日時▼8月14日出·9月11日出 10月9日出 11月13日出

葉栗公民館 12月11日出 午後1 · 時 ~

内容 各自10句持参、

秀作を記録に残します。 互選により優

参加料 . 無料

初心者歓迎

市民短歌教室

(51) 3570

日時▼8月22日(B·9月12日(B) 10月10日(日) 12月12日(日)

会場▼一宮スポーツ文化センター 午後1時~

導します。(初心者歓迎

参加料▼無料

問合せ先 真清短歌会

内容▼真清短歌会委員により実作指

人場料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の5日 前までに電話で生涯学習課 (85) 7074



100周年記念事業

写真し 問合せ先 0 〇人展 一宮写真協会

(76) 3523

日時 7 月23日金~25日田

午前10時~午後5時(25日は 午後3時50分まで)

会場 人場料▼無料 一宮スポーツ文化センター

まちの宮市ミニコンサート 宮市民吹奏楽団

問合せ先 一宮市民吹奏楽団

日時▼8月8日田 **6**080 (5102) 8611

会場▼オリナス一宮 午前11時~午後2時30分

第10回藤乃会筝曲演奏会 問合せ先 藤乃会

(62) 8327

日時▼8月8日(1)

この「いちのみやの芸術文化

は、今年度の編集委員7名

により編集されています。

【編集委員】※順不同·敬称略

·加地

· 小島

・増田

孤握

祥子

和臣

英仁

·木全

·原 美津子

修

人場料▼無料 尾西商工会館 午後1時30分~3時30分

『加入団体の催し』 欄に ませんか

掲載を希望される団体は、 情報を募集します。 月3・6・8・12月の前々月末日までに、下記 の必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局ま

①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場 ⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

〒491-8501

宮市芸術文化協会事務局(住所不要 またはFAX 0586-73-9213

いちのみや市百周年記念展 宮書道協

【問合せ先 一宮書道協会 **(**51) 0646

日時▼8月27日金~29日(1)

午前9時30分~午後7時 日は午後1時から、29日は午

会場▼~ービル 後3時30分まで 27

/場料▼無料

11 令和3(2021)年6月 いちのみやの芸術文化

『いちのみや文芸2021』作品募集

市民の皆さまから文芸作品を募集し、お寄せいただいた作品を文芸集にします。ぜひご応募ください!

1. 募集種目

- ①随想·随筆 一人 1編(本文は400字詰原稿用紙3枚以内)②現代詩 一人 1編(本文は400字詰原稿用紙3枚以内)
- ③漢 詩 絶句、一人2首以内
- ④短 歌 一人8首以内(題を付けること)
- ⑤俳 句 一人10句以内(新仮名、旧仮名遣いを明記のこと)
- ⑥川 柳 一人10句以内
- ⑦狂 俳 一人10句以内(俳号を付けること)

2. 応募上の注意

- ①応募は一人3種目以内とします。
- ②用紙は、A4判の400字詰原稿用紙とし、種目ごとに別紙を用いてください。 パソコンなどを使用する場合は、A4判白無地の用紙を横長に用い、20字× 20行で印字してください。
- ③原稿は縦書きとし、文字は正確に読みやすく書いてください。
- ④原稿には、欄外に種目を記入してください。その他、氏名、号(必要に応じて)、 年齢、郵便番号、住所(番地まで正確に)、電話番号を記入してください。 なお、氏名および号にはふりがなをつけてください。
- ⑤原稿は文字のみとし、挿絵や写真等は掲載しません。
- ⑥応募原稿は返却しません。

3. 応募資格

市内在住・在勤または一宮市芸術文化協会加入団体に所属している方

4. 作品の採否

応募作品の採否については、編集委員が選者となり、編集委員会で決定します。

5. 応募方法

〒491-8501 (住所不要)

一宮市芸術文化協会事務局『いちのみや文芸』係 (市教育委員会 生涯学習課内) までお送りください。

令和3年7月1日(木)必着

6. 発刊予定

令和3年10月16日(土)発刊予定です。





[題 字] 武 山 翠 屋 [編集·発行] 一宮市芸術文化協会 [連 絡 先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内) 〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号 TEL 0586-85-7074 / FAX 0586-73-9213